

読書のすすめ

今年の「全国高校生読書体験記コンクール」で文部科学大臣賞を受賞した横浜商業高校1年生の体験記のタイトルは、「教えが自信へ、信念へ」というものです。体験書籍は『論語』。

『論語』とは、今から2500年ほど前に生きた儒教の祖、孔子や弟子たちの言行録をまとめたもの。では、どのように影響されたのでしょうか。

ヤングケアラーとして母親の代わりに家事をする自分の人生が、普通の生活とは違うということに気づき始めたころ、自分の価値観を刷新してくれた言葉たち。「2500年も昔を生きた人の言葉が紙の束に収められて私の中に流れ込んできた感覚がいまだに忘れられない。」と書いています。それからその生徒は行動することをためらわず、大人に頼り児童養護施設での生活を送るようになりました。響いた言葉として、「子曰く、『教え有りて類無し』」で、人間である上で一番大切なのは学ぶことであり、その人が何に属しているかではない、という意味の言葉だといいます。家族という名前に縛られて生きるより、自分のために、私が私として生きることが好きだと結んでいます。

本を繰り返し読むと、前に読んだ時とは違う発見があります。「古典〜？」と毛嫌いする人もいるかもしれませんが、清水丘高校の至る所に古典、しかも『論語』の書の作品があるのは、ご存じですか？

まずは、生徒玄関入って左。言語文化の教科書にも載っていますが、「学びて思はざれば則ち罔(くら)し。思ひて学ばざれば、則ち殆(あや)ふしと。」

次に、図書館に入ってすぐ右側。「葦編三絶(いへんさんぜつ)」。意味は調べてみてください。孔子の時代、紙はまだありません。竹簡で読んでいたのです。

まもなく春休み。本を手にとって、読んでみてください。



今回は、深澤学校長おすすめの本を紹介します！



アドラー心理学を語る1
性格は変えられる/
野田俊作/創元社



生き方がラクになる『ハイキュー!!』の言葉
アドラー心理学で読み解き心を整える/
内田若希/河津慶太/大修館書店



この2冊はともに「アドラー心理学」を基本として書かれています。アドラーというのは人の名前で、彼は精神科医でありながら心理学者で「アドラー心理学」を開発しました。

「性格は変えられる」は、対話形式で著されており性格を変えるための具体的方法が示されています。キーワードは「勇気」です。また、「生き方がラクになるハイキュー!!の言葉」では、心の整え方について漫画「ハイキュー」の登場人物の言葉を引用しながら分かりやすく解説しています。ハイキューを読んだことのある人であれば、日向選手のあのシーンだとか、影山選手のあの言葉だとか、あっという間に読み終えることができる本です。

自分を変えてみたい方、ぜひこの本を取って実践してみませんか。

深澤 健



2月末クラス別利用状況

春休み前の図書返却のお願い

新年度への進級のため、皆さん方の貸出用氏名バーコードが変更になります。春休み中に変更作業のため、3月24日終業式の日までに、本を借りている人は、必ず返却してください！

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	0	0	0	2		2	13
2年	0	3	0	0		3	
3年	0	0	0	0		0	
職員					8	8	